

2019年 第66回応用物理学会春季学術講演会  
**シンポジウム (S3)**

3月10日(日) 午後 東京工業大学大岡山キャンパス

## 多様な光ファイバセンシング技術

光ファイバセンサの誕生から40年余りが経ち、近年、光ファイバを利用したセンシング技術の実用的な応用や新しい手法の開発がますます多様化しています。本シンポジウムは、光ファイバセンシング技術に関わる様々な専門領域で活躍されている研究者の方々にご講演を頂き、この分野の最新動向および今後の展望について知見を得ることを目的としています。

世話人 田中哲(防衛大)、相津佳永(室蘭工大)、和田篤(防衛大)

### 招待講演 【講演題目(仮)、講師(敬称略)・所属】

- JAXA 研究開発部門の光ファイバジャイロに関する研究開発活動  
水谷 忠均 (JAXA)
- 建設分野における分布型光ファイバセンサの活用  
今井 道男 (鹿島建設)
- 誘導ブリルアン散乱を用いた数モードファイバ評価技術  
小田 友和 (NTT)
- 光周波数領域反射計を用いた分布型光ファイバセンサとその応用  
村山 英晶 (東京大学)
- 光ファイバセンサの社会実装とヘテロコア技術の展開  
渡辺 一弘 (創価大学)
- 光周波数コムとシアン化水素周波数安定化レーザを用いた  
周波数計測  
上原 知幸 (防衛大学校)
- 膨潤性ポリマーを用いたリーキー・導波変換POF型センサの開発  
鈴木 裕 (山梨大学)